

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2007年10月31日

81号

〒0 法人「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

運営体制を整備し頑張ろう！

グループホームの改善に向けて

朝晩は少し冷え込んで、さすがに季節を感じるようになりました。あたりは華やかな花たちが変わって、たわわに実をつけた木々が豊かな彩りを映し出しています。

こうして季節の移ろいが感じられると、「どんな事も時が手助けしてくれて、それなりに収まっていくのかもしれない...」と、一息入れられるような気がします。

* * *

さて、先月号で、少しお伝えしましたが、私たちの支援するグループホームの現状は、いささか厳しいものがあります。

ただ、まだ運営費の増える問題を含め、解決できていないことも多いのですが、労働基準監督署の勧告に対しては、職員と協定も結び、是正報告を行ない受理されました。

また、ヘルパーさんにボランティアで泊まっていたいただいていた時間帯は、メンバー4人のうち3人が重度障害者訪問介護の制度へ移行する事ができ、有償となりました。今までの居宅介護（身体介護・家事援助等）とは別体系で24時間必要な支援が受けられます。しかし、事業者へ支払われる単価は、だいぶ下がりますので、受け入れ先がなかなかありませんでしたが、結局これまでの事業者にご協力いただくことができるようになりました。

今後は、残された課題に真摯に取り組んでいくことで、よりしっかりした運営体制へ脱皮できればと願っております。

新しい職員も増員しなければなりませんので、心当たりの人があれば是非ご紹介ください。

* * *

いずれにしても、グループホームはそれぞれが“家”なのですから、規模は大きくありません。それが地域でふつうに暮すためにはよい事なのですが、ウィークポイントでもあります。この弱さを克服しながらよさを守り育てるためには、どんな工夫が必要なのか。また、他に比べて、たくさんの支援が必要な重度障害者が安心して暮すためには、どのようにすればよいのか、これからも実りある模索をしてゆく事になります。

皆さんの応援を心よりお願いいたします。

お詫び：ここ数ヶ月、いろいろな事情により発効日が遅れがちですが、ご容赦ください。

談話室



この部屋で会話するのは いろいろな人。

今日は、前回に続き キンジストロフィーの画家・大塚晴康さんの「ふくし談義」……

最近、「福祉って何なんだろう」と。仕事として従事する人たちの問題や、制度の隙間をどう埋めるのかとか...、もの思う秋ですが。

◇ 僕に言わせれば、もともと“福祉”は無いのよ。ただ気の毒な人を助けるとかそんな程度の考え方で、関わっている人が多い。本来はもっと人間の根源的な問題なのだけど。そもそも教育をする場にも問題があると思う。幼稚園からきちんと人の話を聞く練習もしないし、家庭でも一つ一つ丁寧に教育していないから、人の話をちゃんと聞けない。そういう人たちが、やがて大きくなって、仕事をしていくわけだから... 程度の差はあってもね。

相手が弱者だから、感謝されるから、それでできているように思うのだろうけれど、「福祉とは何か」が抜けている。あらためて福祉とは何を考える仕事なのか。今やっている人たちに問いたす事、一人ひとりが自分の立場で考えて動いていく事こそが重要な。適当に善意で動いているだけだと自己満足におわってしまうのよ。そんなの一般の企業には通用しないと思うよ。もっと真剣に専門家を育てるべきだと思うな。

制度のカベって感じる事はありませんか...

◇ どう自分のものにしていくか、考える事が必要だね。僕は、ぜんぶ崩してきた。制度のカベは、無くてはならないものだろうけど、行政も生活を実際に見てくれて判断する責任があると思う。また、ほんとに必要な事なら何年かかっても真剣に取り組むと、いつかはとおるの。それは自分たちの責任でもある。僕らは生活していかなければならないのだから、そのために制度をどう変えていくのか...。工夫もし、努力もしなければならぬ。

あらためて福祉とは、何を考える仕事なのか、みんなで問い直す必要があるね。

と、話いつものように ちょっぴり辛口で...

秋にうたう 花陽の会



箏・三絃・尺八・コンサート



— 秋深く、伝統のしらべの中に 身をおく幸せ... 一緒にいかがですか —

日時：平成 19年11月23日（金・祝）午後1時30分～午後4時

会場：川崎市国際交流センター レセプションルーム

主催：花陽の会（代表 三上園東巳） *三上さんは 当「支える会」の会員です*

整理券：1500円（ティータイムつき）問い合わせ*090-4134-0949 又は支える会へ

めがねの声



◇秋には 静かに音楽を・・・

9月も終わろうとした頃に小栗由美子さんがお亡くなりになりました。小栗さんは、活動ホームしもだで 始めの頃からのコーラスの先生でした。

いろいろな歌と一緒に教えてくださいました。私の好きな歌やきれいな歌を多く教えてくださいました。「ママごめんなさい」や「翼をください」「なだそうそう」などいろいろ思い出します。

先生が車イスになったころ、私の詩で川崎先生が合唱曲にして下さったのを、女声合唱にして、コーラスの演奏会で歌って下さった事を 忘れられません。

* * *

私は 赤ちゃんのときから 歌の中で育ったと思うくらい 歌がとても好きでした。レコードや 絵本や母が歌ってくれるのをいつも聞いていました。

私が 時々テレビをみて一緒に歌っていると、母が遠くから「ハイちょっと待ってちょうだいヨ」などと返事をする事があります。私は「歌っているだけよ」といいます。

私は話ができないので「あーあーあー」と歌っているだけだからです。

今は テレビも好きな歌の番組がありません。言葉がわかりにくい若い人の歌や、演歌ばかりです。たまにいい歌はありますのに...

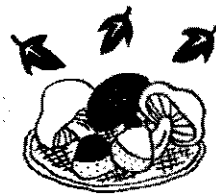
この季節には 「小さい秋みつけた」や「あかとんぼ」などのコーラスを静かに聴いてみたいと思ったりします。

でも活動ホームしもだで 木曜日には、寺田さんや赤瀬さんの音楽の時間で、子供のころの歌を歌って下さるし、いろいろな楽器を持ってきてくださるのでとても楽しみ。首を長くしてまっています。

大原友子

ご入会 ご継続 ありがとうございます

[敬称略]



《賛助会員》

入江 勝通 神代 孝子

(19年10月25現在)

今月のよつばホーム

よつばホーム

秋もようやく深まってまいりましたが、みなさまいかがおすごでしょうか。

10月7日に新吉田町内運動会に参加しました。天気にも恵まれ絶好の運動会日和です♪ 入居者は朝から準備に余念がありません

職員の車とタクシーに乗って会場へ出発です。運動会当日は暖かくてみんな気持ち良さそうに参加する種目を待っています。

そしていよいよ参加種目『新吉田朝市』への出番です。みんなしっかり野菜をゲットしました

ゲットした野菜を嬉しそうにみてたり、参加賞のお菓子が楽しみだったり、運動会よりも会場で売ってる焼きそばに釘づけだったり・・・みんな楽しい時間を過ごしました。また来年も参加したいと思えます。

☆入院していた藤田さんが10/24に退院しました。退院した日には早速よつばホームに泊まり、元気な姿をみせてくれました

d(*^▽^*)b

第2よつばホーム

秋といえば、食欲の秋?!・・・今回は夕飯での会話をご紹介します。

最近、〇〇人前などといった、大きなサイズの料理の特集などがテレビで放送されることが多いですね。その時もそんなサイズの料理が出てきました。それを見て、「あんなに食べれないね・・・」、「見ているだけでお腹いっぱいだよ」と会話が始まりました。「沢山もいいけど、おいしいものを少しでいいね」「おいしいものをみんなで食べに行きたいねえ」などには入居者も同感のようでした。

秋になると、おいしい食べ物が出てくるのでリクエストメニューなどでも旬のものを作った料理をリクエストしたり、フルーツなどの頂き物をみんなでおいしく食べています。

